

# 第138回 信濃教育会総集会北安曇大会

テーマ：信州教育の創造～未来を拓く職能の向上～

期日 令和6年7月6日（土）

会場 白馬村 ウイング21

〒399-9301 北安曇郡白馬村大字北城2066 Tel：0261-72-8770

日程

◇ 受付 8：50～ 9：15

◇ 開会式 9：20～10：00

歌「夏は来ぬ」 会長挨拶 来賓祝辞 来賓紹介・祝電披露 など

◇ パネルディスカッション 10：05～11：20

・テーマ：信州教育の明日を拓く～児童・生徒が主体となる学校とは～

・パネリスト

駒ヶ根市立東中学校 仙波 歩 教諭

大町市立大町北小学校 臼井 敬子 教諭

信州大学教育学部教職大学院 尾臺 美彰 准教授

・コーディネーター：箕輪町立箕輪中学校 藤井 篤徳 教諭

◇ ポスターセッション 11：30～12：30

・各コーナーでの発表

・教育実践賞受賞者や応募者の発表

≪ 昼食 12：30～13：15 ≫

◇ トークショー 13：15～14：45

講師 雪印メグミルクスキー部アドバイザー 原田 雅彦 さん

演題 「私とスキージャンプ」

聞き手 秋山 昇（信濃教育会副幹事長 松代中学校長）

◇ 信濃教育会オーケストラによる演奏会

15：00～15：30

指揮者 木村美音子先生 信濃教育会オーケストラ常任指揮者  
（洗足学園音楽大学講師）

演奏曲目 J・シベリウス作曲 「カレリア」組曲 作品11

北安曇・安曇野市教育会合唱団による合唱「信濃讃歌」

◇ 閉会式 15：40～15：50

# 総集会北安曇大会を盛り上げる4人の若手会員



小谷村立小谷中学校  
田中 亜佳音 教諭

池田町立池田小学校  
池戸 奈都美 教諭

大町市立大町中学校  
幅下 慧 教諭

松川村立松川中学校  
栃本 卓摩 教諭

今年の総集会は、  
私たち4人にお任せください。

楽しく、学びのある、充実した総集会になるよう、それぞれの持ち味を發揮します。

乞うご期待！

## パネルディスカッション 10:05~11:20

### テーマ：信州教育の明日を拓く～児童・生徒が主体となる学校とは～

パネリストの実践発表やディスカッションをもとに、参加者全員で問い、考え、語り合しましょう

パネリスト



仙波 歩 さん  
駒ヶ根市立東中学校教諭  
今年度は信州大学教育学部教職大学院で研修中。東中学校生徒会での実践をもとにディスカッションに参加します。

パネリスト



臼井 敬子 さん  
大町市立大町北小学校教諭  
昨年度まで勤務した池田町立会染小学校での子どもたちの取組をもとにディスカッションに参加します。

パネリスト



尾臺 美彰 さん  
信州大学教育学部教職大学院准教授  
主に学術面からの捉えについて現場での実践も踏まえてディスカッションに参加します。

コーディネーター



藤井 篤徳 さん  
箕輪町立箕輪中学校教諭  
自分の実践も織り交ぜながらパネリスト・フロアのみなさんと予定調和ではないディスカッションをつくりまします。

## ポスターセッション 11:30~12:30

県下各地の学校で教育実践に励んでいる皆さんの発表の場です。



ポスターはQRコードからもご覧になれます

| 発表場所  | 学校名       | 氏名・グループ                     | タイトル                              |
|-------|-----------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 二階ロビー | 長野市立長野中学校 | 中村広登                        | 「伝えたい！わたしたち（こども）の権利」の実践           |
|       | 山形村立山形小学校 | プロジェクトY<br>重点研究グループ<br>齊藤郁子 | 探究的な学びを深めよう<br>～お蚕様とは何ぞやその答え教えます～ |

|                     |        |                              |  |  |
|---------------------|--------|------------------------------|--|--|
| 二階                  | ホワイエ   | 長野南高校<br>(R5野沢温泉中学校)         | 篠原敏紀   | コンピテンシーを育成する学びをいかに構想するか<br>～パフォーマンス課題「私たちは原爆投下をどのように記憶すべきか」<br>を事例に～ |
|                     |        | 松本市立鎌田小学校<br>信州大学教育学部附属松本中学校 | 松本市養護教諭部会B<br>徳武加奈子<br>小林文恵                          | 小学校における保健室登校の子どもに対する支援のあり方   |
|                     |        | 小谷村立小谷中学校                    | 清原佳明   | 平成7年豪雨災害の記憶をつなぐ防災教育  |
| 一階                  | ステージ   | 佐久市立高瀬小学校                    | 高瀬小学校職員<br>藤澤直子                                      | 「校内支援委員会の充実」の視点から通常学級の学びの充実を<br>めざす                                  |
|                     |        | 千曲市立五加小学校                    | 蟹澤和哉   | 自由進度学習 はじめの一歩<br>～学習者が自律的に学ぶ姿を求めた3年間～                                |
|                     |        | 松本市立波田中学校                    | 藤原賢志   | 知的好奇心をもって取り組む「自走型授業」の提案  |
|                     |        | 駒ヶ根市立東中学校                    | 林 秀星   | 探究的な学びとICTのベストミックスによる、創造性を育む<br>授業の実現～NIEと創造性を引き出す学習ソフトを活用して～        |
|                     | ホワイエ   | 松本市立開智小学校<br>(R5奈川中学校)       | 伊藤 拓   | 切実な思いや願いを抱く 探究的な学び<br>～そば粉の副産物を活用した商品開発～                             |
|                     | エントランス | 長野市立七二会小学校                   | 総合的な学習の時間<br>推進チーム<br>西澤 浩                           | お蚕様の生糸が紡ぐ総合的な学習の時間の実践<br>～シルク灯籠完成までの道のりとその発展活動～                      |
|                     |        | 川上村立川上第二小学校<br>(R5境小学校)      | 片岡聡矢   | 探究的な学びの中で、自らを問い直し続けていく子ども<br>～多様な思いを発揮する2年間の生活科の学習を通して～              |
| 松本市立田川小学校           |        | 小嶋徳仁                         | やりたいことを、やりたい方法で、やりきる その意味は…<br>～子どもの行為の意味を考えることを通して～ |  |
| 松本短期大学<br>中野市立日野小学校 |        | 山田真治 齋藤博紀<br>松村貴子            | 童謡の英訳化による学習指導  |  |

## トークショー 13:15～14:45

講師：原田 雅彦 さん 雪印メグミルクスキー部アドバイザー

演題：私とスキージャンプ

聞き手：秋山 昇（信濃教育会副幹事長）



長野オリンピックスキージャンプ団体。  
降りしきる雪の中、日本は見事金メダル  
を獲得。今も耳に残る、最後のジャン  
パー船木に向けたあの言葉「ふなき～」。  
思い出の白馬村で当時を振り返りながら  
存分に語っていただきます。

### ○経歴

北海道上川郡上川町出身。雪印メグミルクスキー部  
でアドバイザーを務める。1998年長野オリンピックス  
キージャンプ団体金メダリスト。1993年及び1997年ノ  
ルディックスキー世界選手権スキージャンプ個人金メ  
ダリスト。



# 演奏会 信濃教育会オーケストラ 15:00~15:30

指揮者：木村美音子先生 信濃教育会オーケストラ常任指揮者  
(洗足学園音楽大学講師)

演奏曲目：J・シベリウス作曲 「カレリア」組曲 作品11



信濃教育会オーケストラのあゆみ

平成2年に16名で楽団を立ち上げる。「アルルの女第1組曲」を第104回総集会(松本市民会館)で演奏する。以来毎年演奏を続けている。現在登録団員は120名。常任指揮者木村美音子先生の指導を受けている。

## 信濃の国

作詞 浅井冽  
作曲 北村季晴

一 信濃の国は十州に  
境連ぬる国にして  
聳ゆる山はいや高く  
流るる川はいや遠し  
松本伊那佐久善光寺  
四つの平は肥沃の地  
海こそなければ物さわに  
万ず足らわぬ事ぞなき

二 四方に聳ゆる山々は  
御嶽乗鞍駒ヶ岳  
浅間は殊に活火山  
いづれも国の鎮めなり  
流れ淀まずゆく水は  
北に犀川千曲川  
南に木曾川天竜川  
これまた国の固めなり

三 木曾の谷には真木茂り  
諏訪の湖には魚多し  
民のかせぎも豊かにて  
五穀の実らぬ里やある  
しかのみならず桑とりて  
蚕飼いの業の打ちひらけ  
細きよすがも軽からぬ  
国の命を繋ぐなり

昭和二十三年の県議会での分県問題審議の際、議場で自然発生的に「信濃の国」の大合唱が起こり、分県議決が回避されました。

『県歌「信濃の国」の誕生―県民愛唱歌の今と昔―』  
太田今朝秋氏著より



ポイント!

四 尋ねまほしき園原や  
旅のやどりの寢覚の床  
木曾の棧かけし世も  
心してゆけ久米路橋  
くる人多き筑摩の湯  
月の名にたつ姨捨山  
しるき名所と風雅士が  
詩歌に詠てぞ伝えたる

五 旭將軍義仲も  
仁科の五郎信盛も  
春台太宰先生も  
象山佐久間先生も  
皆此国の人にして  
文武の誉たぐいなく  
山と聳えて世に仰ぎ  
川と流れて名は尽きず

六 吾妻はやとし日本武  
嘆き給ひし碓氷山  
穿つ隧道二十六  
夢にも越ゆる汽車の道  
道一筋に学びなば  
昔の人にや劣るべき  
古来山河の秀でたる  
国に偉人のある習い

## ふるさと

作詞 高野辰之  
作曲 岡野貞一

一 兔追いしかの山  
小鮒釣りしかの川  
夢は今もめぐりて  
忘れがたき故郷

二 如何にいます 父母  
恙なしや 友がき  
雨に風につけても  
思いいずる故郷

三 こころざしをはたして  
いつの日にか帰らん  
山はあおき故郷  
水は清き故郷



ポイント!

「日本童謡の会」が平成十五年に実施した全国アンケートでは、「好きな童謡」で「ふるさと」は第二位に選ばれている。

## 夏は来ぬ

作詞 佐々木信綱  
作曲 小山作之助

一 卯の花の におう垣根に  
ほととぎす 早も来啼きて  
忍音もらす 夏は来ぬ

二 さみだれの そそぐ山田に  
早乙女が 裳裾ぬらして  
玉苗植うる 夏は来ぬ

三 橘のかおる軒場の  
窓近く 蛍飛びかい  
おこたり諫むる 夏は来ぬ

四 棟ちる 川べの宿の  
門遠く 水鶏声して  
夕月すずしき 夏は来ぬ

五 五月やみ 蛍飛びかい  
水鶏なき 卯の花咲きて  
早苗植えわたす 夏は来ぬ

裳裾(もすそ)  
諫(いさ)むる  
棟(おうち)ちる  
水鶏(くいな)

